

集

医学部受験予備校・集中

Discover the passing
Medical school entrance exams
2017 Course Guide

中

医学部受験予備校・集中 - TAILOR MADE EDUCATION -



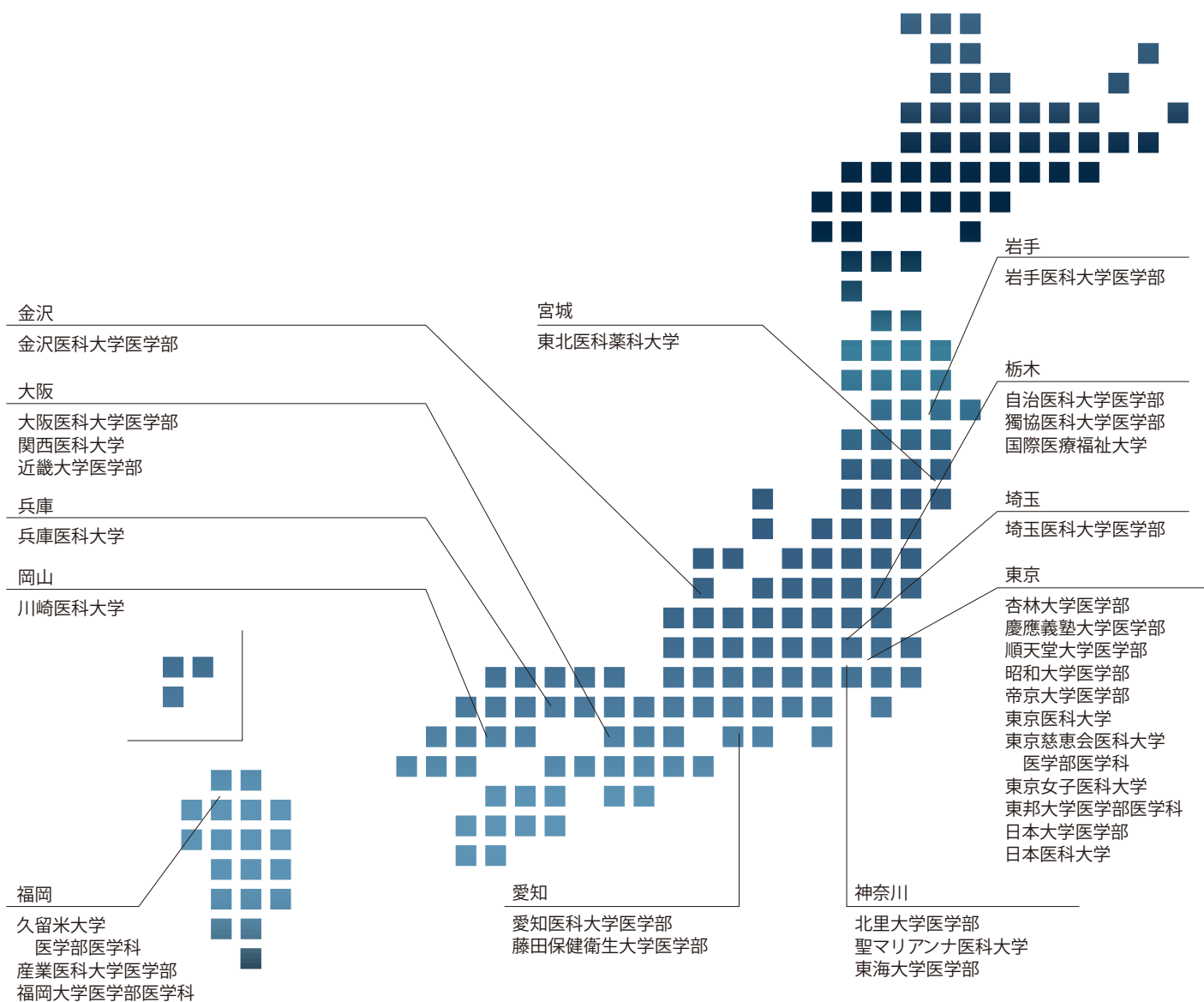
医学部合格のため
完全オーダーメイドの
カリキュラムで
徹底的なサポートと
最上の講義を
ご提供します。

INDEX

目次	00	Index
2017 私立大学医学部マップ	01	Medical School Map
「医学部受験予備校・集中」理事長ごあいさつ	02	Shuchu-Yobikou Message from the Board Chairman
「医学部受験予備校・集中」学長ごあいさつ	04	Shuchu-Yobikou Message from the President
英語	06	English
数学	08	Mathematics
化学	10	Chemistry
生物	11	Biology
物理	12	Physics
小論文／医学教養（面接対策）	13	Short essay / Medical education (interview measures)
年間スケジュール	14	Annual schedule
週間スケジュール	16	Weekly schedule examples
サクセスストーリー	18	Succes stories
対談	20	Conversation
料金・コース案内	24	Course types + fees



私立大学医学部マップ



「夢を掴め！」 最短距離で志望校に合格し、未来の

医療機関経営者のための医療情報月刊誌「集中 /MediCon」は、創刊から今年で10周年を迎えます。そして、2017年1月、満を持して、唯一無二の高度な教育サービスを提供する全く新しい発想の医学部受験予備校として、「医学部受験予備校・集中」を開設致しました。

まず、医療情報月刊誌「集中 /MediCon」についてお話をさせていただきます。

我々は、医療機関経営者の皆様に応援するメディアとして、医療現場が真に求めるサービスや情報を提供し、病院経営の健全化、作業の円滑化を推進するとともに、医療界に新たな価値を創造することを目的とし、サポートすることを使命としています。

その過程において、誌面で様々な有益情報を迅速にご提供させて頂くことは勿論のこと、メディアで培ったネットワークや情報をもとに、医療経営者の皆様のお役に立つサービスを提供するメンバーシップクラブ「集中倶楽部」を立ち上げました。ここで、これまでに提供してきたサービスは、資金調達、M&A、医療過誤や患者トラブル対応、勉強会、ご子息令嬢の医学部受験指導アドバイス、事業継承問題など、多岐にわたります。

特に、医学部入試は最難関の試験です。これまで個別に受験相談に\対応していましたが、医師として活躍したいと願う受験生のため、「最短距離で合格させるための最高の指導を提供するノウハウを持つ理想の予備校」を立ち上げようと考えました。そこで、医学部受験分野で合格請負人として手腕を発揮し、偏差値を大幅にアップさせるノウハウで、多数の受験生を合格へ導いてきた小野俊彦氏とタッグを組み、完全オーダーメイドの「医学部受験予備校・集中」を設立致しました。

医師を目指して頂くために

「医学部受験予備校・集中」の3大特長は、

- 1 全国の医療機関や大学医学部と太いネットワークを持つ医療情報誌の強味を活かした大学医学部情報を提供出来ること。
- 2 予備校の垣根を越えた著名な講師を抱え、唯一無二の最高の教育システムを提供出来ること。
- 3 一人一人に合った完全オーダーメイドの個別カリキュラムを作成し、都合良い時間にいつでも受講出来ること。

一人一人の夢と真剣に向き合い、夢を現実するために、私たちは徹底的にサポートしていきます。



医学部受験予備校・集中
理事長 尾尻 佳津典

優れた講師の職人技こそ、

医学部受験は、他の学部に比べてはるかに浪人を重ねやすく熾烈な争いを求められます。そして、長い間、受験勉強をしたからといって、学力は必ずしも伸びないものです。というのも、時間とともに得られる情報もあれば、失われていく情報もあるからです。

2～3年も浪人すると、得点できるスコアは、その人の均衡点に漸近する傾向があり、そのような固有の頭打ちを打開するのは、単純な方法論の変更では実現できません。

人間は、皆、複雑な心の体系をもっているため、その最適化については、やはり複雑な構造をもった人間との適切なコミュニケーションによってしか、いまのところ、根本的な改革はできないものです。

つまり、講師の資質として必要なのは講義のプレゼン能力だけではありません。多くの大衆的な大手予備校のトップ講師は、この点だけで選ばれています。しかし、いくら弁士として力があっても、楽しく、眠らず授業をきいていられるくらいで、上記のように、長い期間に渡って伸び悩んでいる方の根本的な問題を解決することはありません。そもそも、すでにそのような講義を例年聴いてきて、この現状があるのです。

それでは、プレゼン能力以外に必要な能力は何でしょうか？それは、観察力や想像力です。生徒様おひとりおひとりの様子を最新の注意をもって常に観察し、理解や記憶を阻んでいるものを発見し、そして、生徒様の心の動きに想像力を働かせて、ひとつひとつ自ら気づかせることができること。このことが、頭打ちの状態を打開させ、イノベーションを惹き起こすもっとも大切な根気のいる作業なのです。

さて、プレゼンターとして最高であり、トレーナーとして、アドバイザーとして最高の講師であっても、それらだけでは我々の基準には達しません。当然、その担当分野についての最高の造詣の深さを求めます。すくなくとも、自ら教材を作成する能力を、それ

唯一の答え。

も内容として市販の参考書を超えるレベルでできる能力を求めます。これは、もっとも、その学科について、予備校や第三者から与えられる教材では、半分のパフォーマンスも得られないからなのです。限られた貴重な時間ですから、ひとつひとつの授業で最大限の能力を発揮できることが大切です。

以上のような講師は、ピラミッドの頂点、全体の数%もいません。しかし、このような最高レベルの職人を探し出し、それも、生徒様の状況に合わせた科目バランスでの完全オーダーメイドで授業を組みます。しかも、1：1の個別授業を中心にします。

ところで、医学部受験予備校・集中は、専属のIT会社を有しています。そして、独自のシステムを開発し、最高画質を誇る最新のRTC（リアル・タイム・コミュニケーション）技術により、リアルでのインタラクティブな授業をネットでも実施できる仕組みを確立しております。これにより、最高レベルの講座をリアルタイムで受講できる機会を通常の何倍にも高めることを可能にしております。

まずは、早速、ご相談いただき、授業を体験してみてください。そして、貴方専属の最強チームをつくってみませんか？このチームと共に、新たな一年を闘って、これまでにない飛躍を何度も実現させ、来年の合格を確実なものにする。それができるのは、この医学部受験予備校・集中だけなのです。



医学部受験予備校・集中
学長 小野 俊彦



一人一人の志望、英語力、要望に合う授業

私大医学部の問題をよく調べると、それぞれの大学にそれぞれの出題傾向があります。一人一人の志望校、英語力、要望に合わせた授業を展開し、個人に必要な力を身につけることを目指します。前期から夏までは、文法等の基本事項の確認と穴を見つけることを主眼にします。後期からは、入試問題を扱いつつ、知識の使い方や、夏期までに扱わなかった事項の習得を目指し合格へと繋がる実力を養成します。冬期・直前時期には入試問題を解いて実践力を付けます。志望校の問題及び類題を解くことで、合格を確実にします。

前期・夏期

医学部入試を意識しつつも general な文法・構文の学習にやや大きな比重を置いた展開となります。理路整然とした解説に加え、語学習得には非常に効果のある音声重視の指導を行ないます。しっかりとした音声指導のできる講師が講義を行なう点は、大きな特色です。声を出すことは、始めはちょっと恥ずかしいと感じられたり違和感を覚えたりするかもしれませんが、すぐに楽しい感覚が勝ってきます。

後期

後期は、医学部の入試に直結した演習が中心となります。一般的な英語力の向上のための演習はもとより、医学系英語の徹底した訓練と、出題形式に独自性が見られる医学部入試にも対応できる答案作成力を養う練習を反復して行い、医学部合格へと導きます。

冬期

入試さながらに制限時間内に問題を解き、解説を行う実践的な形式を設け、本番に備えます。直前には、志望校及び、良問を用いてのこれまでの確認、深化、設問処理の実践を行います。十分な英語力を身につけ志望校の傾向に合った問題を解くことで、合格を確実にします。

生きた単語テストと様々な方法論による講義

- A 英語の特徴は何ですか？
- B 語彙力をつけるために、毎朝、英単語テストを実施しています。これは英語に限ったことではなく、他の教科でも添削型のテストコースがありますが、英単語テスト（ときどき漢字テストもあります）は必須です。
- A 英単語テストといっても、ただひたすら並べられた単語の意味を書いて行くとか、逆に、日本語にあった英単語を書いて行くというものではないんですよね。
- B はい。そういう英単語テストはよくありますが、それでは、英語はなかなか上達しません。それに勉強が苦痛で仕方ないでしょう。ここの英単語テストは、1回のテストの中でも、各設問がさまざまな問題形式でできています。英文の穴埋め問題となっていることも多くあります。
- A そうですね。英単語の意味は、その機能と一体なのですから、他の単語とのつながり方で様々な変化します。そして、つながることのできる単語が限られる場合もあります。例えば、effort（努力）にはmake（つくる）がついて make an effort となる。
- B コロケーションですね。名詞には、決まった動詞がつくものが多くあります。動詞でも、deprive（奪う）だと of（から）という前置詞を伴うので、こういったものは語法と呼ばれます。一つの単語がきまった単語と結びつく性質は、まるで化学変化のようです。
- A 単語の意味を理解することを、日本語の単語との対応だと考えがちですが、そもそも、異なる文化の中でつくられた別の体系の言葉同士が一对一に対応することはほとんど期待できませんよね。
- B 日本語訳はあくまで、その単語が指し示す対象のイメージをつくるために、ヒントとして利用するものです。英単語は、その指し示す対象に対して、他の

英単語との相対的な関係を保って、その意味をつくっていきます。

- A 講義ではどんなことをしているのでしょうか？
- B 意外に思われるかもしれませんが、英語がもっとも先生によって方針が異なるものです。ある先生は、多読を推奨し、口頭試問を通して、知識の定着を進めます。基本的に、文法を分析するのではなく、経験を積んで覚えて行くのです。
- A ある意味で正攻法だと思いますが。
- B 分析を重んじる講義もあります。文章を丁寧に要素に分解し、なぜそのような構造をしているのかを考えます。より科学的な方針といえるのではないかと思います。
- A それも、正攻法ですね。経験と理屈のどちらを優先するかという意味では、さっきとはまったく逆に思えますが。
- B 先生の数だけ方針の違いがあるのが英語の特徴です。いろいろな先生の講義を受けるのが理想にも一見みえますが、かならずしもそうではありません。多くの生徒さんは、まったく違ったことを指導されると混乱してしまいます。
- A では、どのようにしたら良いのでしょうか？
- B とにかく、はじめ、いろいろな先生の講義を受けてみられると良いです。「医学部受験予備校・集中」では、納得いくまで選べます。そこまでの勉強の仕方との兼ね合いもありますし、アドバイザーと相談しながら決めて行きます。
- A 納得のいく方法で勉強できる。ここならではの特徴ですね。
- B はい、ぴったりとくるまで選択できるように、いくらでも超一流の先生を紹介します。完全オーダーメイドとは、自分に最適化された講座で、もっとも無駄のないかたちで、一年を過ごしていただくことです。それが、合格への最短コースなのです。



個別ならではの、最も効率的な学習方法

医学部の入試で求められる数学のレベルは限定的なもので、かつ典型的な問題の出題が頻繁に見られます。基本がしっかりと身に付いていれば、このような問題は解くことができます。

ところが、数学が得意でない生徒様の中には、中学や高校受験レベルの数学から十分に身に付いていない方々もいらっしゃるのです。その場合には大学受験勉強の前提から作り直さなければなりません。ここでは、大学受験の勉強をしながら、弱い部分が見つければ、何度でもさかのぼって解説し、必要な演習を促します。

これは、集団講義では決して得られない柔軟さのおかげであり、もっとも効率的な学習法と言えるでしょう。そして、数学の学習には不可欠なものです。もちろん、数学を得意とする生徒様にも期待を上回る知識と技術を提供いたします。また、方針としましては、数学全範囲の基本事項、考え方、解法を前半で一通り確認し定着いたします。

後半では前半で身につけたことを用いて、より本格的な問題に対する対処法を取得します。冬期・直前時期

前期・夏期

数Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C全範囲を入試で出題された小問（医学部を問わず）を題材に問題を解くことを通して、基本事項、公式、定理、解法等の整理を行います。

これら前期の総復習とブラッシュアップの後、夏期には入試で特に重要なテーマとなりうる出題を選び、その解説と演習、及び弱点分野等、内容をしばって復習を行います。

後期

本格的な入試問題（医学部の大問を中心にした問題演習）を通して、前期・夏期までに学んだ事柄の定着を目指し、全範囲を演習いたします。問題の取り組み方についての理解をはかっていくことで、知識の整理と復習を行い、実践的な実力が身に付きます。

には、これまで孤立していた知識が合流し、思考回路が縦横につながり始め、自力で正解を導き出すことができるようになることを目的としています。最終的には自分の学力に自信と確信を持った状態で、受験へ挑んでいただくこととなるでしょう。数学は懐の深い教科です。数学的な成長過程によって、何をどのように学ぶべきかは異なります。数学が伸び悩んでしまう人は、そこに問題点があるがゆえに、努力が空回りしていることが多いのです。

最適なものを見抜き、無理なく数学力を伸ばしてくれる——それがこの数学講義です。揺るがない解法の大原則の把握に始まるスタンダードな解法に加えて、頻出問題を瞬殺できる裏技の数々も伝授されます。それらのことが個々の生徒様に合わせた形で無理なく行われます。それを可能にしているのは、医学部入試に精通しているだけでなく、あらゆる意味で質の高い講師陣です。『『医学部受験予備校・集中』で無理なら、他のどこでやってもきっと無理だろう。』そんな実感を、すべての生徒様へ。

冬期

志望大学にそった近年の入試の傾向と分析の後、受験大学に対応した問題の演習を通して、最後のまとめ、予想を行います。過去問を多く解き、発見された弱点を補強していきます。直前時期には各大学の特徴的な問題を集め、演習を行うことで、本番に向けて最善の準備に尽力いたします。

数学に必要なのは体験型講義

A 数学の力をつけるのに、最も大切なことは何でしょう？

B 正しい指導のもとで数学的な体験をすること。つまり、先生が道しるべになるようなかたちで、生徒様自身があくまで主体的にそれに向かって歩いていくことです。1から10まで教えるんじゃなくて、あくまで、自らの力でとくことを疑似体験するのです。

A 体操選手が、練習の際に、補助の手を差し伸べられながら、訓練するのに似てますね。

B そうですね。超少人数講義で、まとめて概念的な知識の整理は行いますが、一番、大切なのは、その後、個々に、この体験学習をすることなのです。

A 人間の脳は、記憶と想起が同じ場所で起こりますよね。それも、数学のような多様な思考プロセスが伴う場合には、その連想の複合的な記憶が大切で、疑似体験という場では、想起が随時起こることになります。

B 無駄な推論、間違った方向への思考の展開を制御し、正しい、自然な推論へと導かれるようにするには、それを穏やかにガイドするものが不可欠ですね。

A そういう経験の中で、数学的思考の類型ができくると、あるとき、目が開くということが起こってきます。

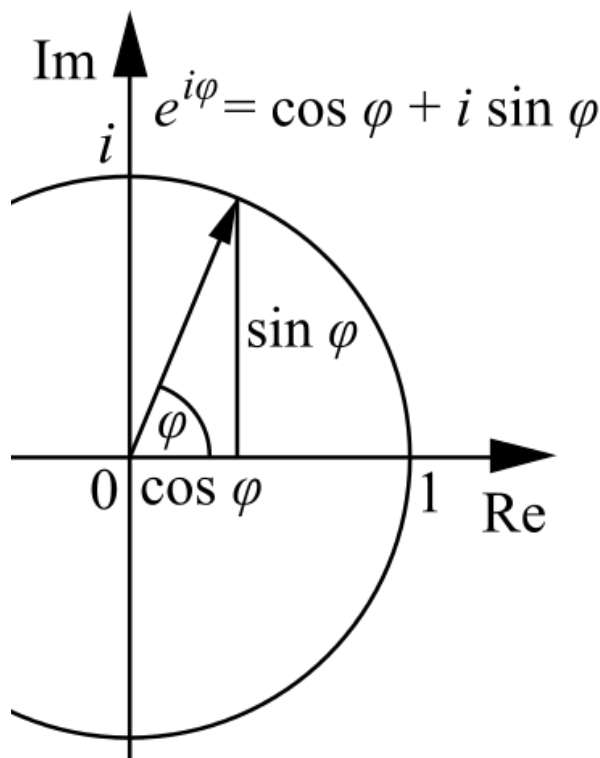
B 補助がないかたちで、自然と答えが見えてくるという体験でしょうか。そもそも、「問題とは答えである」というのが、ドゥルーズだったか哲学者の言葉にありましたが、問題を深く理解すれば、本来は自ずと答えがでてくるはずのものです。

A ウィトゲンシュタインの言葉にも「論理は同語反復に過ぎない」というのがありましたから、その通りだと思います。とはいっても、人間は、いろいろと複雑で、頑固だったりして、柔軟にほつれた糸をほぐすのが容易でないのです。

B 他の教科に比べて、数学は解けるか解けないかで、得点差が大きく出るので、受験の戦略上、特別に大切です。

A 根本的な理解をしていないと駄目だと思われますか？どうしても文系脳であったり、おっちょこちょいであったりと、生徒様によってはいろいろとありますが。

B 文系脳でも、頭が固かったとしても、数学の型がしっかり入っていれば、合格できるレベルまでには達することができます。もちろん、数学的な思考を将来活かせるまでになっていただきたいと思いますが。我々の使命は「医学部合格」の一点に絞られているのですから、生徒様の個性を最大限に尊重するかたちで、合格への最短ルートをご案内します。



個別の良さを100%活用した目標設定

化学は科学(サイエンス)のどの分野ともリンクする、いわば理解の架け橋ともなる学問です。疑問を追究すれば物理学や数学の力が必要となり、応用させて行けば生物学へ入り込んで行きます。受験化学も然り。昨今の入試問題を眺めていると、単なる知識を問う問題は激減し、思考力が試されています。このような状況で勝つためには根底の理解が要求されます。個別の良さを100%活用して下さい。化学では、ほとんどの大学で満点を目指すことができます。従って、目標を100に設定して学習をしましょう。受験で点数に差を出せるか否かは、いかに点を線で結ぶ回路を作り上げられるかにかかっています。

前期は、シンプルな問題演習を通して、全単元を広く浅く把握することを目指します。取り上げる問題内容は、個人レベルにあわせたオリジナルテキストに沿って進めます。合格の基本は、難問が解ける力よりも誰も

が得点できる問題を確実にとることです。このことを特に意識して、解答スピード、計算力を身につけていきます。

夏は、知識問題を中心に整理していきます。大学受験とはいえ、知っているか否かで即点数につながるものが多く出題されております。この時期に、知識ベースの受験技術を研いて、最短距離の思考回路で点数が取れるようになります。後期12月までは、内容の濃い問題を扱います。各分野との複合問題や、計算の複雑なもの、医学部特有の薬剤や生物学に関わる問題もこの時期に扱うことになります。特に、12月以降はまとめの時期です。各大学別に分析の仕方を教えます。読み取り方を細かく指導し、つまづいた問題に的確な解説を致します。あとは、万全の態勢で受験に臨んでいただけます。

Notes:

- Pour l'atome les plus abondants (15, 17, 19, 118)
- Pour les éléments les plus abondants (15, 17, 19, 118)
- Pour les éléments les plus abondants (15, 17, 19, 118)
- Pour les éléments les plus abondants (15, 17, 19, 118)

前期・夏期

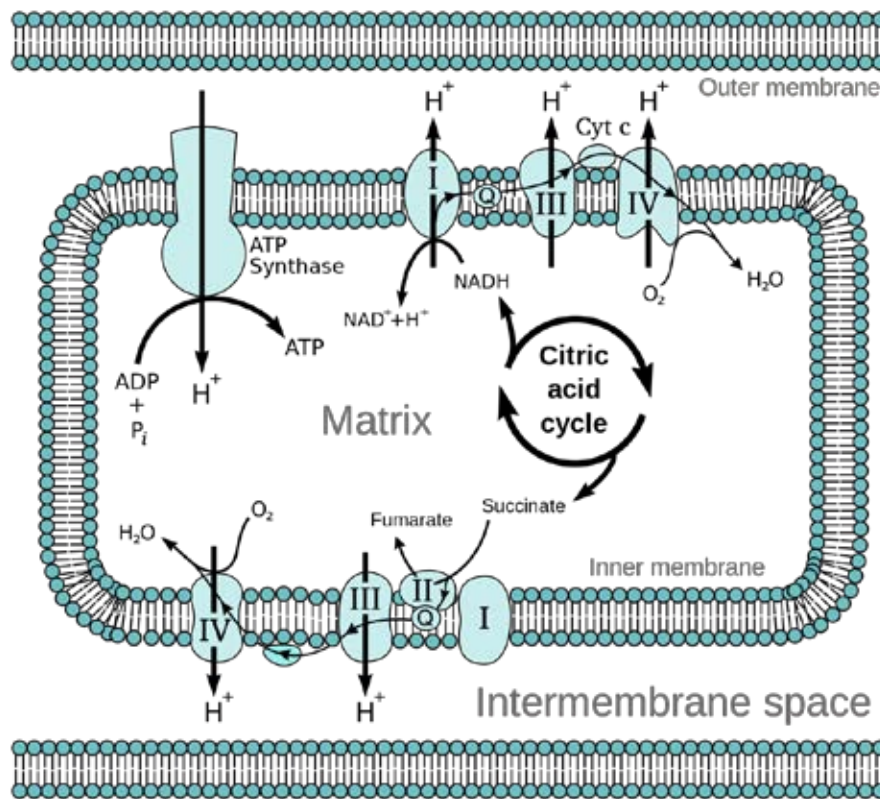
全範囲の基本から標準レベルでの問題演習により化学の基礎力を完成させます。理論分野を中心に問題演習を繰り返すことで、解答力を身に付けていきます。

後期

化学全範囲の基本事項の復習を進めながら、応用レベルでの問題演習により化学の応用力を完成させます。入試問題や複合問題などを通してレベルアップをはかりつつも、基本事項の確認をすることで取りこぼしのない実力を身に付けていきます。

冬期

志望大学の過去問の演習を中心に、大学別の対策を徹底いたします。また医学部で頻出の単元は特に重点的に演習を行います。過去問演習により合格ボーダーを越える得点力を目指します。



ひとつひとつの事項が記憶に残る、インタラクティブな講義

生物は暗記の科目と考えられがちですが、それは盲目的なものではなく、体系的な理解を必要とするものです。したがって、生物を習得するためには、まず分野の全体像や各知識間相互のつながりの大まかな枠組みを理解することが必須です。そのあとで、各部分のより細かい知識を深めていくことが大切です。各講義の中でひとつひとつの事項が記憶に残るように、一方的な講義でなく、演習の要素を取り入れたインタラクティブな講義を行います。

前期・夏期

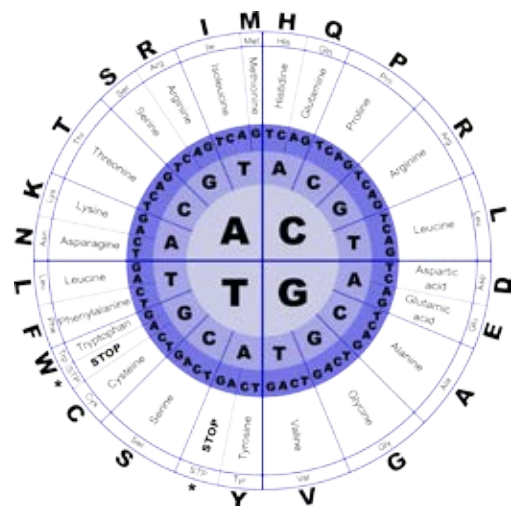
【細胞と組織、生殖と発生、刺激の受容と反応、体液の恒常性、植物の調節・遺伝】
基本から発展レベルに至るまで、個人のレベルに合わせて授業を進行します。生物Ⅰ・Ⅱ全体を一通り学習し、基本事項の確認と基礎力を養成することで、「獲得する力」を身につけていきます。

後期

【代謝、遺伝子関連、進化と系統分類、生物の集団と生態系】
生物Ⅰ・Ⅱ全体の基本事項の再確認を行い、また不得意分野を克服していきます。その後、答案作成力を養成することで、「発揮する力」を蓄えていきます。

冬期

志望大学にそった近年の入試の傾向と分析を行い、各分野の出題頻度と入試傾向を知ります。志望校対策演習を行いながらも、無駄な失点を最小限に減らし、受験本番に備えます。



個人の状況に応じて、基本から高度な技術まで

医学部の入試では、基本的な理解ができていれば、8割以上は得点できます。残りの差をつけることのできるような問題も解ければ理想的です。個別講義で個人個人の状況に応じて基本事項を習得していただき、超少人数講義で高度な技術まで演習していきます。合格への確信を揺るぎないものにしましょう。

前期・夏期

■力学（等加速度運動、運動方程式、エネルギー保存と円運動、単振動、衝突、運動量保存、万有引力、モーメント）■電磁気学（静電場、抵抗の原理、抵抗回路、コンデンサーの原理・回路、ローレンツ力、ファラデーの法則、電磁誘導、アンペールの法則、コイルの原理）■熱力学（状態方程式、体積・圧力グラフ、非平衡過程、気体分子運動論）

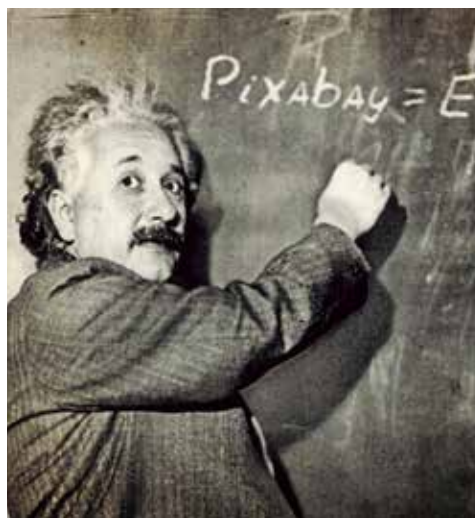
後期

■波動（波の原理、定常波と共鳴、屈折とレンズ、干渉）■原子（光電効果、コンプトン効果、電子の制動放射、ドブローイ波、ボーア模型）■原子核（アルファ崩壊、ベータ崩壊、ガンマ崩壊、質量のもつエネルギー）

冬期

■力学復習、熱力学復習、波動復習、電磁気復習、最新入試問題研究

※原子物理の初心者向け短期集中コースもございます。



2つの流儀の選択と体験型講義

- A 物理の講義には、微分をつかう講義と使わない講義があると聞きますが、ここではどうですか？
- B 基本的には、使わない先生が主流ですが、使う先生も、どちらともいえないという先生もいます。個別や少数講座のみですから、自分のスタイルに合わない講座をとる事はありません。
- A ここには、2つの異なる流儀の先生の中でも、日本を代表するようなカリスマ級の先生がそれぞれいるんですね。
- B はい、どちらに偏ることもない講師もいます。それに、物理は初心者で、どちらかまだ決まらない生徒様には、色々な先生の講義をとってもらう中で、適性をみますから、心配いりません。
- A 先生は、もっとも生徒様ご自身のスタイルに合った方を選ぶのが最善です。いずれにしても、大量に医大生を生み出してきた先生たちですから、大丈夫なんですね。
- B ただし、共通している点もあります。それは、受け身の講義ではなく、体験を伴うセミナー形式の講義を基本としていることです。数学と同じく、物理には、知識や概念を組み合わせ、問題を解く複雑なプロセスがあります。それをしっかりと身に付けるに

は、リアルタイムの正しい指導のもとで、演習しなくてははいけません。

- A この演習というのは、ただ、時間を決めて受けてもらうようなテストでは決していないんですよね。それだけでは、実力はつかない。
- B そうです。場合によっては、討論をしながら問題解決をすることで、短期間で、奥義を習得できるようになります。一方通行の講義に別途にテストを実施するという通常の方法が、一見は無駄が少ないように見えますが、実は、定着がとても悪い。無駄がもつともない講義とは、講義と演習が一体となったインタラクティブなものなのです。自分にあった最適の方法で、もっとも濃度の高い講義。「物理のおかげで合格した」と生徒から言っていただく度に、この考え方の正しさに自信を深めております。

PHYSICS

小論文／医学教養（面接対策）

教養を深めながら、表現の形式を獲得

医系大学の受験に欠かせないのが小論文です。この訓練は難しいことではなく、究極的には一定の型を身につけることにつきます。その為には、まずは「書く」という作業を日常化し、自分の周りで起きている様々な事柄に関心を持ち、問題意識を持っていただく必要があります。医学に関わる問題から社会問題に至るまで、教養を深めながら「考え、書く」中で、思考のルールやその表現の形式を獲得していただきます。

究極的には、一定の型を身につけること。 日頃の問題意識と表現技法の習得

- A 小論文・面接の対策で一番大切なことはなんですか？
- B 前提となる十分な知識が欠かせません。中でも、医療に関するものは、医学部受験では大きな部分を占めます。ここには、毎日、その日の医療関連を中心としたニュースレターが届きます。毎日、必ず時事問題について触れ、考える機会がある訳です。そういった蓄積が、合格への最後のとどめとなるのです。
- A 面接についてはどうでしょうか？他の学部と違うのですか？
- B 医学部に入ると、チーム医療の訓練がさまざまなかたちでなされます。自己主張しすぎないことは大切ですが、しっかりとした意見をはっきりと述べる能力は大変に重視されます。そして、他の人の意見を良く聞き、とりいれ、場合によっては、リーダーシップをもってまとめる。そういう積極的な能力が採点シートに反映されます。
- A 医学部の入試で、複数の受験者によるディスカッション形式のものがあるのも、そうした能力をみるという意図からなんでしょうね。
- B 医師は、人格者でなくてはなりません。医学部入試になぜ面接が必要かという、そもそも人格的に医師にそぐわないと思われる人を排除するためといわれています。

- A コミュニケーション能力が必要という訳ですね。
- B ここでは、生徒だけでなく、沢山の先生やスタッフという大人とのコミュニケーションを伴います。そういう生活を背景に、度々、面談をして、反省する機会ももちます。
- A 面接の講義はどんな内容ですか？
- B 問題意識や時事問題の知識をもつという点は、小論文と同じです。面接では、他の表現力を使う訳です。言葉、表情、態度など。言葉については、考えをしっかりと分かりやすく簡潔に表現する能力を身につけます。そして、集団面接の場合には、模擬面接を繰り返して、人の話を聞き、とりいれ、まとめる能力を身につけます。ここには、そういう指導を何十年もやっている第一人者がずらりと揃っています。
- A 他には、何か必要ですか？
- B 面接では、言葉の内容をみるだけではなく、表情や態度をみます。この部分は、医療系の企業研修で多くの実績をもつ専門家から徹底した訓練を受けてもらいます。ここには、すべてが揃っています。上手くいった場合の対策をしっかりとおくことで、一次合格＝二次合格という状況にします。ここは、合格のためのありとあらゆるサポートをします。

前期・夏期

小論文と作文の違いを理解し、基礎的概念と最近の傾向をつかみます。具体的には、医療系小論文の3パターン、小論文の約束事、原稿用紙のルール、戦略的小論文の特色と効果、それらを用いての実践、医療論理・問題の演習と添削、理想の医師像、QOL …と、続きます。

後期

小論文の一般的な問題（社会／教育／環境／国際／心理）についてを扱い、その後、過去問題や多様なテーマを用いた様々な演習・添削へと至ります。冬期・直前期には、主たるテーマを医療へ展開し、受験本番へ備えていきます。

ANNUAL

3月から翌年の受験シーズンまで、年間を通して着実に実力をつけ、目標に到達するためのスケジュールが組まれています。前期講義では基礎力を身につける事に重点を置きます。後期には全国模試などを受けながら、それまでの基礎力を活かして「いかに試験での得点を伸ばすか」にターゲットを絞った実践的な指導を行います。試験直前には面接や小論文を含めた二次試験対策で最後の仕上げをします。

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

御父兄様との懇親会

生徒様の日頃の状況をお話させていただきます。また講師、スタッフ、御父兄様同士の懇談のお時間もございます。

入試相談会

大学関係者をお招きし、大学の概要、入試の特徴や二次試験の攻略法などをレクチャーしていただきます。希望者は個人面談もしていただけます。

前期開講

一人一人に合わせて作成した受講スケジュールにそって、前期コース講義がはじまります。前期は、とにかく基礎力をつけること。本当に弱い科目は、いくらでも初歩から学べます。必要な場合には、ドリルやe-ラーニングでサポートします。

夏期講習

前期の学習状況に応じて、夏期は特別スケジュールを組んで、ここまでの学習で足りなかった部分などを補強していきます。

春期講習

前期開講に先立ち、一足先に、いつからでも、どんなペースでも、受験体制に入ることができます。濃度の高い個人合宿を行い、短期間で大きな飛躍を遂げる可能性があります。1年をより充実させる為に、苦手分野の克服や理解が浅い分野の復習を、この段階でしてしまいましょう。

集中模試（全3回予定）

本番レベルの問題で、前・後期の模試シーズンの開始時期を生徒様ごとに決定します。

予備校案内

入寮申し込み
開始

春期講習

オリエン
テーション

講師会議

前期開講

選択講義開始

コーススタート

全国模試

連休合宿
(現役対象)

集中模試

保護者面談

授業報告

夏期講習

前期終了

授業報告

全国模試

授業報告

全国模試

集中模試

後期開始

保護者面談

授業報告



SCHEDULE

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		個人面談週間									
		いよいよ志望校選定の時期です。万全のバックアップ体制で生徒様一人一人の状況に合わせてプランニングいたします。									
全国模試シーズン開始						大学入試本番					
大人数の母集団からなる大手予備校の模試を毎週のように受験していただき、得点をとる方法を体得していきます。あくまで合格力をつけるシーズンです。						試験に集中して臨めるように、必要書類（願書など）の準備サポートに加え、入試会場が遠方の場合には、ホテルも手配いたします。サービスには、入試期間中の面倒な手続きのフォローも含まれます。					
後期開講						冬期／直前講習					
ここまでの状況を分析し、後期のコース講義の内容とカリキュラムを決定します。前期は学力を伸ばすことをテーマにしてきたのに対し、後期は得点力を伸ばすことを目指します。						最後の調整にあたるこの時期は、弱点科目と二次対策を中心にカリキュラムを組みます。二次試験に関するさまざまな情報もご提供します。また、各人の入試スケジュールに合わせて、講師やスタッフとの二人三脚で合格を勝ち取ります。					
全国模試		全国模試		集中模試		特別講座		入試			
後期開講		小論文対策		面接対策講義		入試ホテル予約代行					
授業報告		大学別入試対策講座		保護者面談（志望校決定面談）		個人別・入試スケジュール作成					
		願書取寄代行		願書指導		合格祈願参拝					
		授業報告		授業報告							



WEEKLY SCHEDULE

生徒様一人一人のニーズに合わせてスケジュールをオーダーメイドに作成します。また、年間途中で時間配分を成績の状況にあわせて随時変更することができ、個別講義も超少人数講義も、随時追加していただくことができます。この場合は、スタッフが適切なアドバイスを致します。

type

A

すべて最高の講師チームによる個別講義で

自分が選んだベストな講師のチームで、朝から晩まで個別講義を受けるのが理想という生徒様には、その思いを実現させるプランをご用意いたします。ご紹介する講師はすべて他の予備校なら、なかなか個別がとれないトップクラスの講師ばかり。その中でも、とことん自分に合った講師を選んで、ベストチームをつくっていただくことができます。個別講義で得られる情報量は、集団講義の何倍にも相当し、かなりのエネルギーを使いますので、1日に6時間位までの講義スケジュールを組まれるのがお勧めです。また、週に1日はお休みをとられる生徒様も多くいらっしゃいます。

【個別超特訓コースの例（個別講義 30 時間）】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
6:00							
7:00	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
8:00	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
9:00	予習・復習	予習・復習	予習・復習	予習・復習	予習・復習	予習・復習	
10:00							予習・復習
11:00	個別英語	個別化学	個別数学	個別小論文 (月2回)	個別生物	個別英語	
12:00							
13:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
14:00	復習	復習	復習	予習・復習	復習	復習	予習・復習
15:00	個別数学	個別英語	個別生物	個別英語	個別数学	個別化学	個別数学
16:00	カウンセリング	復習	復習	復習	復習	復習	復習
17:00							
18:00	復習	個別数学	個別英語	個別数学	個別英語	個別数学	個別英語
19:00		復習	復習	復習	復習	復習	復習
20:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
21:00							
22:00	自習	自習	自習	自習	自習	自習	自習
23:00							
	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠



EXAMPLES

週間スケジュール例

type

B

科目によって、個別と超少人数を使い分けたい

苦手科目は、個別で「基礎の基礎」から習いたいけれど、得意科目は超少人数講義で十分という生徒様には、これらをブレンドしたプランをご案内します。例えば「数学が苦手で、集団講義にはついていけないので、すべて個別にしたいけれど、他の科目は超少人数講義にしたい。」「得意の理科は超少人数講義にして、英語は苦手なので個別講義」ということも可能です。まさにオーダーメイドならではの柔軟な学習スケジュールを組むことが出来ます。

【個別＋少人数コースの例（個別講義 8 時間＋少人数講義 8 時間）】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
6:00							
7:00	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
8:00	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
9:00	予習・復習	予習・復習	予習・復習	予習・復習		予習・復習	
10:00					予習・復習		
11:00	個別英語	個別数学	個別生物	個別数学		少人数化学	
12:00							
13:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	
14:00	復習	復習			復習	復習	休日
15:00	少人数数学	少人数英語	復習	復習	少人数生物	個別小論文 (月2回)	
16:00							
17:00	復習		個別英語	個別数学			
18:00	カウンセリング	復習			復習	復習	
19:00	復習		復習	復習			
20:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
21:00							
22:00	自習	自習	自習	自習	自習	自習	
23:00							
	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠



SUCCESS STORIES

志望大学合格を果たし、医師として人としての資質が養われた濃厚な一年

杉山さん 東京慈恵会医科大学医学部医学科 合格

渡辺さん 日本大学医学部医学科 合格

川上講師 「医学部受験予備校・集中」 数学講師

— 自分の学習を徹底的に見てくれる点に引かれて —
お二人が、ここを選んだ理由は何ですか？

杉山：実は最初は他の大手予備校へ通う気で体験に行ってみたのですが、まるで暗記詰め込み型のような一方的な指導で、自分で考えて問題を解かない講義という印象を受けてしまったのです。この先生方は、私の「なぜ？」の疑問に対し問題を解くプロセスも含めて丁寧に指導してくれました。自分の学習を徹底的に見てくれる。得意を最大限に伸ばし、不得意のフォローをしてくれる私専用の先生達が揃うのはここだけだと思ったからです。

渡辺：先生との距離が近いから、わからない箇所はすぐに先生に気付いてもらえ、その場で質問できるし、先生も親身で雰囲気が良かったので、ここに決めました。

杉山：実際にここで受けた講義では、先生が一人一人の弱点を見抜いているので、それぞれに合った課題を出して弱点を補強してくれました。毎回予習から復習まで、私の解くプロセスを見てくれているので、応用問題などで私の解き方が変わると敏感に気づいてくれ、より良い解き方へと導いてくれました。

渡辺：授業中に理解できない点があると、先生がそれを察して授業の後にも理解できるまで説明してくれました。わからない問題があると私は顔に出てしまうのですが、顔色の変化まで察知してすぐ「大丈夫？」と声をかけてくれたんです。

川上：それぞれの SOS は敏感にキャッチできるよう努めています。距離の近さは、意識している部分もあるんですよ。勉強しやすい・質問しやすい環境をつくるということは、ここで大切にしていることのひとつです。講義以外の場面でも、生徒から話しかけやすい雰囲気をつくって精神的にもリラックスして勉強してほしいと思っています。

杉山：勉強以外でも、体調が万全であるか、悩んでいることがないかなど常に気を配ってくれて、いつも温かい雰囲気で迎えてくれました。

川上：事務も講師それぞれも、生徒さんの状態は常に気にかけていますね。授業が終わった後でもフラッと気軽に質問できるよう、普段から声をかけているんです。ちょっとした質問に、気づいたら 30 分以上たっていた

ということも少なくないです。勉強以外でも将来のことなど…会話の中から生徒の状態・モチベーションがわかりますし、多角的に一人の生徒の状況をわかってあげられるように心がけています。生徒さんと同じくらい先生達が入り出る環境ですから、生徒さん同士より、先生との会話が多いかもしれませんね。

— モチベーションが高まる環境 —
同僚の皆さまの雰囲気はいかがでしたか？

杉山：皆、オンとオフはしっかり分けていました。基本的には、休み時間も自習時間として使っていました。でも、帰り道ではパッと切り替わって、皆で一気におしゃべりしながら帰ったり…良いバランスでした。

渡辺：とても雰囲気がよかったですね。温かく、家族のような雰囲気でした。お互いで問題を出し合ったり、試験の点数を競ったりして…。クラスメイトは仲間であり、良きライバルでした。一人で勉強していたらダラダラしちゃったかもしれないけど、共に励む仲間がいたから刺激し合え、和むこともできました。

川上：皆、ライバル心はあったみたいですね。その高め合う姿勢が素晴らしいことだと思います。大学合格までよく走り抜けました。

— 大学入学後、ここで養った力を実感 —
実際に大学に入学してから感じたことは？

杉山：ここで養った「考えて解く力」が活かされていると実感しました。というのも、大学の教授達の話によると、これまでの国試は暗記でクリアできるような問題がほとんどだったらしいのですが、近年の傾向としては暗記した内容を元に「その先に何が起こるか…」といったような知識に加え、考え方のプロセスが問われる問題が出題されるようです。大学も国試の対策を意識しているのか、学内試験でもそういった傾向の問題が出ています。これまでの過去問では対策できない、暗記だけでは解決できない試験問題へ実際に向き合った今、ここで繰り返し養った「考えて解く力」が活かされていると感じます。また、教科の知識に加え、先生達との会話から医師に必要な教養の部分も一緒に学ぶことができました。ただ勉強だけしていれば良いという先生はひとりもいなかったし、特定の教科だけ対策すれば良いという意見もありませんでした。受験のコツではなく、将来、本当に役に立つということを前提に必要な知識や考え方を大切に指導してくれたのだからと思います。

渡辺：人として成長した実感があります。大学の同級生は同じ目標に向かって真剣に努力している人ばかり。私

— かつての恩師・川上講師と生徒様の再会。温かでリラックスした雰囲気の中、対談が行われました。 —

が今、彼・彼女らと肩を並べていられるのは、受験に受かる事が最大の目標じゃなくて、医師になる為に、学び、努力する姿勢を身につけることが出来たからだなと思っています。友達と切磋琢磨しあって勉強したここでのスタイルが、大学へ行った今も似た環境で活かされ、違和感無く大学生活を送れていると思っています。

川上：医師になるという目標はもちろん大切な目標の一つですが、教科の勉強だけではなく、やはり、人として基本的なこと、医師になるさらに大前提の部分は無視できないと考えています。相手を想う気持ちとか、優しさであったり…それを意識的に教授するわけではないのですが、様々な会話の場面で滲み出てくるものだと思います。講師の態度で生徒はそれを自然に感じ取り、身に付くものだと思います。それで生徒自身が「人として成長した」と感じてくれているとしたら…ありがたいですね。

— これから医学部を目指す後輩の皆さんに向けて —

杉山：ここは、なぜ？と思う疑問を自ら持ち、そして

— 「医学部受験予備校・集中」は試験直前まで徹底的に付き合います —

医学部受験を勝ち抜くためには、基礎をしっかりと築いた上で、どんな問題にも対応できる学力が必要です。直前講習では、一人一人の実力をしっかりと把握し、様々な問いに対して納得できるまで丁寧に指導して一年の総仕上げを行います。同時に、生徒それぞれの特徴や学習の傾向まで確認し、試験当日直前まで徹底的に生徒を見守り、指導します。

1 学科学力を高める

実力派講師による個別または少人数講義で、一人一人親身に指導し単一方通行の授業ではなく消化不良がおきないインタラクティブな授業を行います。教材は、私大医学部を研究しつくした講師自らが執筆するオリジナル教材です。

2 精神力・集中力を高める

日頃より、勉強に最適な繊細な環境づくりに、スタッフ一同注意をはらっています。ここでは集中できる静かで澄んだ空間が実現しています。自習時間も、自主的に勉強に取り組む続けることを可能にし、1年で集中力と精神力が鍛えられます。

3 読解力・表現力を高める「言語教育プログラム」

問題をよりよく理解することが、それを解くことになります。どの学科においても読解力を鍛えることが大変重要です。ここでは読解がより容易になる独自の国語力訓練を行っています。医学部特有の問題も扱うことで、小論文対策にもつなげています。



集中 対談 O P I N I O N

2017年1月、学習塾のカリスマ的存在の「小野俊彦」と医療情報誌「集中」発行元の集中出版CEO「尾尻佳津典」の2人によって、Eラーニングに特化した完全オーダーメイド「医学部受験予備校・集中」が開設された。唯一無二の高度な教育サービスを提供する最先端予備校の新しいシステムと背景に迫る。

**Eラーニングに特化した
オーダーメイド医学部受験予備校**
尾尻佳津典
集中出版株式会社CEO
小野俊彦
株式会社メタシステムズ代表取締役

設立経緯

尾尻：私が2007年に病院経営者向けの会員制情報誌「集中」を創刊した後に、医師だけのメンバーズクラブ「集中倶楽部」を立ち上げ、参加した医師へ様々なサービスを提供する事を趣旨として参りました。丁度、同じ年に、小野さんも全寮制の医学部受験予備校を創設しましたね。

小野：はい。医学部受験のために、一つの理想をもって、予備校を立ち上げました。その後、お陰様でその予備校はみるみる発展し、多くの合格者を生み出しました。3年前に、この予備校の一部を第三者に譲渡しました。

尾尻：小野さんに最初に医学部入試の事で相談したのは、一昨年前のことでしたね。それまで、多くの会員の先生から、ご息やご令嬢の受験相談をされてきましたが、いよいよ相談件数も多くなってきましたので、より本格的に取り組もうと思って、相談させてもらいました。

小野：尾尻代表からは、「集中倶楽部」のサービスの中に「子息・令嬢の医学部受験指南」が含まれており、その中で、毎年のように会員様のご子息様、ご令嬢様の受験指導を依頼されて、個別に対応されてきた経緯を伺いました。

尾尻：小野さんはこの分野で輝かしい数多くの実績がありますし、継続的に医学部受験を含む塾を運営されていま

した。小野さんに協力してもらえれば、「集中倶楽部」の会員の先生方にとって、それに相応しい最高の教育システムを必ずや提供できると確信しました。

小野：2015年でしたが、お預かりした生徒様はみなさん無事に翌年合格を果たすことが出来ました。基本的には、一人ひとりの状況が異なっておりましたから、オーダーメイドでカリキュラムを組みました。

「医学部受験予備校・集中」

尾尻：その成功体験もあって、2017年から本格的にスタートさせることにしたのがこの「医学部受験予備校・集中」です。

小野：私が過去に創った予備校は、どこの医系予備校も基本的には同じなのですが、大学医学部の事情や医学界とのつながりが極めて限定的でした。「集中」と組むことで、「集中」が持つ医療問題に熱心に取り組む政治家や日本医師会、大規模医療法人経営者らの人脈を活用することが出来るのではないかと期待をしています。集中が主体となって運営する予備校は、恐らく、日本でも初めての医師の実情などを基にした唯一無二の高度な教育サービスを提供出来ると確信しています。

尾尻：そこを目指します。そして、経験豊富なスタッフが学習の相談、計画やスケジュール調整まで行い、完全オーダーメイドで医学部合格まで導く、高付加価値なサービスです。

RTC + 完全オーダーメイド

尾尻：私が、小野さんとこの予備校を始めたもう一つの理由は、インターネットを使った最新の技術を教育に導入していたからです。

小野：RTC＝リアルタイムコミュニケーションの技術です。古くはスカイプに代表される同時双方向通信です。丁度、お話を頂いた2015年、そして翌年は、この分野で世界基準の大きなイノベーションが完結した時期でした。これにより、企業ごとに異なっていたこれまでの様々な規格によるテレビ会議システムや同時双方向通信を利用したSNSは、新しい波の中にこの技術に淘汰されていくと考えられ

ます。それは、昔、コンピュータの規格のCPUがいろいろあったのに、インテル社を中心としたものになったことや、OSがウィンドウズ系とマックを含むLINUX系に淘汰されていったことに似ています。

尾尻：医療の現場では遠隔画像診断など最新のRTC技術が遠隔医療に応用されています。小野さんの持つ高度な技術力があれば医学部受験予備校でも遠隔授業に利用できるのではないかと思ったのです。実際に、それを利用して有効性は証明されました。

小野：はい。2015年から2年間で、改良を重ねる中で、実際の授業に活用し、医学部合格に貢献しました。そもそも、インターネットを利用する教育としては、ムービーによるイーラーニングで優れた講義は聴講できますし、問題演習を通して勉強することもできます。しかし、学習は、優れた講義と演習だけでは、躓いてしまい、前に進めなくなることが多々あります。

尾尻：この躓きは、生徒にとって、未知の観念は手探りの状態にあり、全体像が見えないために、そもそも何が分からないのかが自分で分からないから起こることです。そして、この躓きを解消するのは、リアルタイムでインタラクティブなコミュニケーションだけです。アナログな感じですが、この部分が一番大切です。

小野：勿論、先生とのテキストベースのやりとりでこれを実現することも不可能ではありません。しかし、情報量を最大限にとることで、より繊細な心の動きを読み取りながら、生徒にその先に繋げていくことがより効果的です。「医学部受験予備校・集中」は、最新のRTCテクノロジーを活用し、遠隔でもこのようなアナログな授業を実施することができる全く新しい予備校です。

尾尻：生徒と講師がともにリアルで授業を行うのが通常の塾であるとする、「医学部受験予備校・集中」は生徒と講師がともに別の場所においても授業を行うことが出来るのが特徴です。その最先端の技術で、臨場感のある、そして、極限的に簡素な操作性で、完全オーダーメイド教育のボーダを空間的に世界中に拡げました。一方で、人によっては、自分の生活空間のひとつとしての学習環境の整ったリアル塾のメリットも大いにあります。この組み合わせにより、多



様な生徒様のニーズに応えるだけでなく、一人ひとりにとって最良の質の授業を最大の量をもって提供することを可能にします。

最良を最大に

小野：「医学部受験予備校・集中」は、勿論、名前を公表できる多くの講師を抱えておりますが、それ以外にも業界で大変有名で人気のある多くの講師を匿名で抱えています。これは、法的に問題がなくても、現在所属している会社、予備校、団体における自分の地位などに影響が出る事を気にされる先生方が多くいます。他の誰にも知られずに自由に授業を設定できるので、安心して登録出来ると好評です。講師は、実際に予備校施設に出入りすることなく、予備校側と担当する生徒様のみがアクセス出来る環境で、授業を実施することが出来るのです。これにより、他校では不可能な夢の講師の組み合わせで、個別授業を密かに実現することも可能になります。

尾尻：ここでも、一般に良質の授業を最大数受講するには、しっかり編集されたムービーによるイーラーニングで良いと思われがちですが、インタラクティブ性の重要性から、実はそうではないというお話でした。また、その上で、

RTCであれば、講師が匿名で参加出来ることが、ご紹介出来る講師の選択の幅を大幅に広げ、提供出来るクオリティをさらに上げるということですね。

小野：そもそも、多くの講師は職業上、授業の最も重要なノウハウの公開を嫌がります。このような秘伝の伝達が可能になるのも、公開されていない双方向のリアルタイム授業ならではのです。また、RTCを使えば、講師にとっては、交通時間や労力の節約になることから、忙しい合間でも、生徒様のために最大限に時間を確保することが可能となります。これが、些細なようで、集めると大きな効果になります。一人ひとりに最良の授業を最大量提供出来る秘密の一つなのです。

尾尻：生徒やご父兄にとっても、極端に個人情報の漏洩を恐れていらっしゃる場合には、大変に役立ちますね。ご本人が、極力誰にも知られずに医学部受験の勉強をしたいという場合もあるかもしれません。そのような場合には、通学することなく、ご家庭でもどこでも受講することが出来ます。

小野：さらに男性講師や男性の他の生徒様とのリアルでの関わりに大変抵抗を感じられる女性の生徒様にとっても、

ネットでの受講はこれ以上ないほど安全です。勿論、「医学部受験予備校・集中」は、素晴らしい人物であることを講師選抜の要件に入れておりますが、気にされる方には大きなメリットであることは間違いないのではないのでしょうか？

尾尻：「医学部受験予備校・集中」は、高卒生のみならず、全国の小学生から高校生、その他の学校の学生まで、幅広く医学部合格までのお手伝いをさせていただきます。また、高卒生でも「医学部受験予備校・集中」以外との掛け持ちをされるケースもあるかもしれません。そんな場合でも、場所を選ぶことなく、時間も自由にご都合に合わせて、完全オーダーメイドで最良の授業を組ませて頂きます。

小野：そのような授業を普段受けていても、春期、夏期、冬・直前期に、合宿で東京校に来て、同僚と一緒にリアルな授業を受けることも出来ます。普段は得られない交流で学習に新たなインスピレーションや意欲が湧いてきます。このような合宿プランもまた、各人のニーズに合わせ、都度、オーダーメイドで作成致します。

尾尻：「医学部受験予備校・集中」のRTCシステムは、個別授業を中心にした完全オーダーメイドのサービスですが、十数人までの少人数講座もネットで実施出来るようになっていきます。

小野：そうですね。参加する生徒様同士のブレインストーミングが授業理解に個別と異なる相乗効果をもたらします。また、リアルで実施する人気の集団授業に遠隔で参加することも出来ます。また、ネットで実施した授業は、すべて最低1週間（ご要望により長期間）保管されます。このため、期間中いつでも再生し、復習することが可能になります。また、リアルな授業でも、必要に応じてネットで撮影することもできます。

尾尻：さらに、授業のスケジュールは、自分のアカウントから確認することがいつでも出来ます。授業には、同時刻双方向通信であるRTCのみならず、ムービーによるもの、繰り返し解くことが出来る演習型問題集、学習状況を測るためのテストもオーダーメイドでご提供致します。



小野 俊彦（おの・としひこ）

1969年広島生まれ。1992年、京都大学理学部卒。1997年、東京大学大学院修了。理学博士。法政大学大学院、日本大学などで講師を歴任後、2007年、アイディールシステムズ株式会社設立。代表取締役。同年より、全寮制医学部受験予備校を運営し、数百人以上の医学生を排出。予備校の一部を第三者に売却後、株式会社メタシステムズを設立し、最新RTC技術を中心としたICT事業を展開。同技術を活用した教育事業の研究を続けている。

尾尻 佳津典

「医学部受験予備校・集中」理事長
集中出版株式会社 代表取締役兼 CEO
医療情報紙「集中／Medi Con」発行人

小野 俊彦

「医学部受験予備校・集中」学長
株式会社メタシステムズ 代表取締役兼

お問合せ

<https://shuchu-yobikou.com>

料金・コース案内

医学部を目指す生徒様にとってこの世に存在する可能な限り密度が高く効果的な学習を実現させることを目指していくつかのコースをご用意いたしております。各コースでは、医学部受験の実績のある大手や老舗で優れた実力と実績を誇る厳選の講師が、それも1対1、もしくは極めて少ない人数で講義します。各講師ごとにオリジナルの教材とカリキュラムで進められることはもちろん、生徒様の個々の状況に合わせて講義の進め方を調整することもできます。万が一、寝坊や体調不良で開始時間に間に合わない時は、迅速に対応しスケジュール調整に努めますので、トータルで受けていただく講義回数としましては原理的に出席率100%です。

入学までの手順



～ 4月1日

ご見学はお電話やメールなどで日時をご予約ください（TEL：0120-33-5041）。ご来校いただき、各担当者がシステムのご説明、施設および教室のご案内などをいたします。入寮手続き書類及び入学手続き書類は郵送いたしますので送付先をお伝えください。

※入学ご検討の方には、無料体験講義を各科目1時間、計4時間ほどお試しいただけます。



～ 4月7日

「医学部受験予備校・集中」を運営する集中出版株式会社とご契約になります。入学契約書および誓約書をご提出と、入学金およびコース基本料金を下記口座にお振込みいただきます。入学契約書の受け取りとお振込をもちまして、手続きは完了いたします。



～ 4月16日

学生証の発行をさせていただきます。ヒアリングをさせていただき、コースの枠に沿って講師を配置し、年間の基本的な講義スケジュールを策定します。



4月16日～

いよいよ来年の受験へ向けての勉強が、新宿新都心での生活とともにスタートします。定期カウンセリングをもとにした講義プランの変更等、状況に応じてフレキシブルにご対応させていただきます。どのような点でもお気軽にお申し付けください。

コース（18週／年間）の種類・学費例

入学金	¥ 100,000 / 本人様の学習環境整備にあてられます。				
	講義の種類	講義時間	基本料金	個別追加	超少人数追加
個別基本コース	個別講義	6時間／週	¥ 2,970,000 / 年間	¥ 17,780 / 時間	¥ 7,920 / 時間
超少人数コース	超少人数講義	9時間／週	¥ 3,300,000 / 年間	¥ 17,780 / 時間	¥ 7,920 / 時間
個別 + 超少人数コース	個別講義	6時間／週	¥ 4,620,000 / 年間	¥ 17,725 / 時間	¥ 7,865 / 時間
	超少人数講義	6時間／週			
個別充実コース	個別講義	13.5時間／週	¥ 5,940,000 / 年間	¥ 17,670 / 時間	¥ 7,810 / 時間
超特訓コース	個別講義	13.5時間／週	¥ 7,590,000 / 年間	¥ 17,615 / 時間	¥ 7,755 / 時間
	超少人数講義	6時間／週			
個別超特訓コース	個別講義	22.5時間／週	¥ 8,910,000 / 年間	¥ 17,560 / 時間	¥ 7,700 / 時間

※ 希望者の数の都合上、超少人数講義が組めず個別になってしまう場合には、超少人数講義2時間が個別講義1.5時間に置き換えられます。

※ 超少人数講義は講師1名に対し生徒様2名とし、生徒様の人数が3名以上となる場合には、超少人数講義1時間の追加料金は一律 5,500 / 時間（税別）となります。

※ 上記金額は税別で、講習会や合宿の費用は含まれません。

※ 上記以外に、個別にオーダーメイドでコースをご作成できます。

集中 Medi-Con 表紙を飾る医療界の重鎮

集中出版 SHUCHUPUBLISHING



医療情報誌「集中／Medi-con」は、創刊 10 周年

医学部合格

RTC + ひとりひとり

完全オーダーメイド

カリキュラム

